

## のり面を活用した「花壇づくり」で、団地住民のコミュニティを困ります！

JR広島駅から徒歩20分（標高130m）のところにある二葉苑団地は、昭和40年前半に造成されピーク時には300人（90世帯）を超える住民が住んでいました。

しかし、造成から50年経過した今は、空き家が増え、高齢化が進み自治会の役員を遂行できる人が少なくなっています。



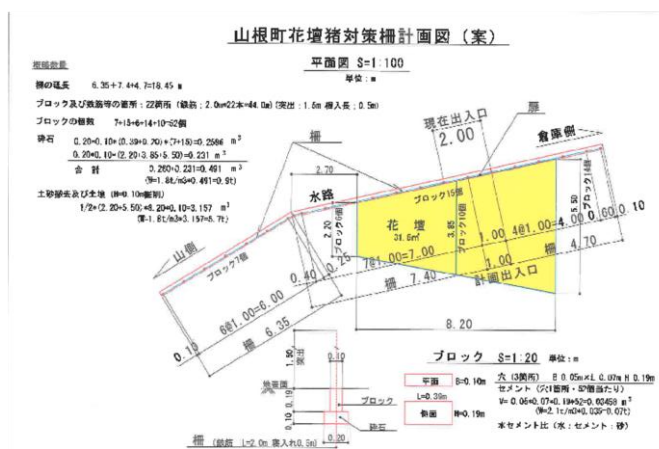
平成27年9月17日、二葉苑団地の皆様へ“まるごと元気”住宅団地活性化補助事業制度が創設された内容について説明し賛同を得ました。

後日、集会所で参加者から「のり面個所には大きな木があり日照不足ではないか」「山のため作業に困難を要するのではないか」「国有林が近くにあり以前からイノシシが出ているので対策をどうするか」等の意見がありましたが、地域住民の交流の場所として花壇づくりを行うこととしました。



### 1. のり面花壇づくりの準備

関係者が集まり、スケジュール及び計画図を作成しました。



### 2. 土おこしの作業

のり面を深さ40cmに掘るなかで大きな石にはばかれ、又、日頃、重たいツルハシ、スコップ等で作業をすることがないので苦労しました。



### 3. 花壇への肥料

肥料は培養土、腐葉土等を使用し、花を植える準備ができました。





#### 4・植栽

花の苗を12種類植えました。



#### 5. イノシシ対策

花壇と水路の間に鉄筋を打ち込み（高さ1mでイノシシが超えない高さ）、有刺鉄線を縦・横に張りました。そして、出入り口は観音扉を住民から寄付をさせていただき設置することができました（上記写真）。平成28年には多くのイノシシが出没しましたが、柵があり花壇に被害はありませんでした。



#### 6. 水の確保

住民の知恵と工夫で、水路を活用した水を確保しました。



## 7. 急傾斜地の避難道確保

のり面の上にある団地住民の家の前まで市道がありますが、災害等により市道が通行止めになった場合、急傾斜地を通行するしかありませんので、土嚢袋で避難道を整備しました。

急傾斜地ではありますが、皆さんの協力で怪我もなく終わることができました。

団地内に車が通れる市道は1本しかなく、この避難道は災害が発生した時に緊急時の道として、住民から喜ばれています。

